

難波宮跡公園の整備

飛鳥から奈良時代に存在した宮殿「難波宮」の遺構があり、
 大阪市中央区法円坂の一带に広がっている史跡公園「難波宮跡公園」。
 現在、難波宮跡公園「みんなのにわ」プロジェクトとして、カフェ&レストランなどの商業施設を含む整備が進行中です。



難波宮跡公園再開発エリアイメージイラスト



大阪市再開発エリアイメージイラスト

「ポレスター谷町六丁目」は
 再開発の進む梅田エリアへ直通9分
 天王寺エリアへも直通5分

2025年の大阪万博に向け順次整備中

大阪城公園の南側に接する難波宮跡公園(北部ブロック)では、難波宮跡の遺構表示や芝生広場を整備。また、レストランやカフェをはじめ、駐車場や駐輪場も整備される予定です。中央大通を挟んだ難波宮跡(南部ブロック)を含むエリア一体で、歴史ガイドツアーやワークショップ、フードフェスなど難波宮跡公園の魅力向上に向けた取り組みが想定されています。

